



解釈改憲

首相会見ポイント

- 衆院選で国民は集团的自衛権の行使容認と来年の通常国会での法整備を支持したことを進めるのが責任
- 安全保障や原発再稼働に関し公約で示したことを進めるのが責任
- 来年9月の自民党総裁選で再選を目指す
- 憲法改正へ国民の支持を深めるため努力
- 衆院選結果は「アベノミクスを前進させよ」との国民の声だ
- 経済最優先で取り組み、景気回復の温かい風を全国津々浦々に届ける

自民・安倍総裁が会見

集团的自衛権「信任得た」

「改憲理解深める」

規制改革の断行強調

強気の首相だが実態は...

政権の継続が決まった衆院選を受け、安倍首相は十五日に記者会見し、自ら争点に設定した経済政策「アベノミクス」だけでなく、政権公約に盛り込んだ改憲や原発再稼働の推進も支持を得たとの考えを示した。だが、今回は九条改憲や原発再稼働に前向きな勢力は数を減らしている。改憲や再稼働を進める首相の路線に有権者が全面的に賛同したとは言い難い。

11月28日に死去した俳優の菅原文太さんは生前、沖縄県名護市辺野古への新基地建設に反対を表明していました。亡くなる直前の11月1日、那覇市内のセラースタジアムで開かれた、沖縄県知事選での翁長雄志氏の大集会で最後の力を振り絞って熱弁をふるいました。発言要旨を紹介します。

政治の役割は、絶対に戦争しないこと

沖縄知事選 菅原文太さんの訴え

今日は自分から立候補してピッチャー交代、知事交代という事で押しかけてきました。プロでない私が言うのだからあてになるかわかりませんが、政治の役割は二つあります。一つは国民を飢えさせないこと。安全な食べ物を食べさせること。もう一つは、これが最も大事です。絶対に戦争をしないこと。

私は小学校の頃、軍国少年でいた。現知事は今最も危険な政権と手を結んだ。沖縄の人々を裏切り、公約をほごにして辺野古を売り渡した。



翁長雄志知事候補の応援弁士に立つ俳優の菅原文太さん(11月1日、那覇市)

今日来ている皆さまもそのことを肝に銘じて実行してください。それができない人は沖縄から、日本から去ってもらう。

なき戦い」の最後で、裏切り者の山守に「山守さん、弾はまだ残ってるがよ」というせりふをぶつけた。「仲井真さん、弾はまだ一発残っている」とぶつけてやりたい。

沖縄の風土も、本土の風土も海も山も空気も風も、全て国家のものではありません。そこに住んでいる人たちのものです。辺野古も然り。勝手に他国へ売り飛ばさないでくれ。

アメリカにも良心あついな人々はいます。中国にも、韓国にもいる。その良心あついな人々は国が違えど同じ人間だ。皆、手を結びあおうよ。今日来ている皆さまもそのことを肝に銘じて実行してください。それができない人は沖縄から、日本から去ってもらう。

- ・17(水) 高岡連帯する会総会
- ・18(木) 入善連帯する会総会

- ・19(金) 護憲県民連合定期総会 (16:00 自治労会館)